



発行
米原市伊吹老ク連
編集
米原市伊吹老ク連
広報委員会
米原市伊吹老ク連事務局
TEL (0749) 58-1634

令和の時代と歩む伊吹老ク連



伊吹老ク連 会長 中村 隆法

元号が、「平成」から「令和」になりました。令和という新しい時代を迎えて初めての「ねんりん」です。元号が変わっても、生活が変わるわけでもないのですが、新しい時代に入ったような気分になります。会員の皆様方には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、伊吹老人クラブ連合会の運営に、ご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、この度、役員改選があり、平成の最後から引き続き令和の元年も会長をお受けすることになりました。また、今年度は、常任理事さんに春照の伊藤一司さんと上野の木原行裕さんの二名に新しく入って頂きました。まだ二名不足のままでの執行部ですが、当面このままで進めさせていただきます。会員皆様と先輩の方々のご理解とご協力をいただき、微力ながら務めさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。本年度も伊吹老ク連の会員減少が続いています。弥高の老人会の皆さんが脱退されました。このことにより単老クラブは、昨年度の十一から、十単老クラブになりました。また、会員数も九五三名から、八八〇名となっております。一方、米原市老ク連においては、山東老ク

連・近江老ク連でも前年に比べ会員数が、減っています。老人クラブを取り巻く環境は、年ごとに厳しくなっています。老人クラブは、人生最後の組織です。老人クラブ活動の基本は、「健康 友愛 奉仕」の三つです。健康は、本人はもちろんのこと、家族にとっても大事なことです。友愛は、友人を助け、友人に助けられ、心の安心を貰えます。地域における仲間づくりをすすめる、活動機会を提供することで外出機会を増やし、高齢者の閉じこもりも予防できます。奉仕は、今まで地域にお世話になった恩返しです。人は、誰の世話にもならず、迷惑を掛けないうで生きていくことはできません。誰かと協力しながら生きていくのです。一人で生きていくことはできないのです。役員になるのが嫌だという気持ちはわかりますが、誰かのためと思えば気楽にできるのではないのでしょうか。自分の人生は、自分の自由ですが誰かのために少し「奉仕の力」を、貸していただけると楽しい老人クラブになっていくと思います。



理事会 (H31.4.18)

原市高齢者スポーツ大会の予選にあたる初夏複合スポーツ大会を六月に、十一月には、グラウンドゴルフ大会、二月には、ゲートボール大会、三月には、スマイルボウリング大会を計画しています。研修部では、七月に、寿ふれあい広場、九月の、一泊二日の研修旅行。(今年は三朝温泉ですよ) 二月には、囲碁大会もあります。福祉部では十一月に、友愛情報交換会・友愛訪問品配布があります。会員の皆様、是非各種行事にご参加頂き、共に楽しみましょう。末筆ですが、常任理事二名が、欠員のままです。老ク連を盛り上げようという方、自薦他薦を聞いてください。事務局まで一報いただければ幸甚です。

令和元年度 伊吹老人クラブ連合会 スタート!

組織表

(敬称略)

役 職		氏 名		役 職	氏 名
会 長		中 村 隆 法	福 社 部 会	部 会 長 常任理事	川 瀬 四 郎
副 会 長		嶋 田 正 昭		副 部 会 長	嶋 田 正 昭
”		上 津 和 雄		部 会 員 単老ク	女 性 代 表
監 事		山 崎 完 一		”	友 愛 担 当
”		筒 井 俊 文	保 体 部 会	部 会 長 常任理事	石 河 勝 美
顧 問		松 井 重 廣		副 部 会 長	伊 藤 一 司
”		児 玉 正 昭		部 会 員 大久保老ク	長 尾 龍 秀
”		久 保 稔 江		”	伊 吹 老 ク
企 画 部 会	部 会 長	嶋 田 正 昭		”	上 野 老 ク
	副 部 会 長	上 津 和 雄		”	春 照 老 ク
	部 会 員 常任理事	川 瀬 四 郎		”	高 番 老 ク
	”	中 村 隆 法		”	杉 澤 老 ク
	”	石 河 勝 美		”	村 木 老 ク
	”	木 原 行 裕		”	大 清 水 老 ク
	”	伊 藤 一 司	広 報 委 員	委 員 長 副会長	上 津 和 雄
	”			副 委 員 長 副会長	嶋 田 正 昭
”		委 員 常任理事		全 員	
研 修 部 会	部 会 長 常任理事	上 津 和 雄		創 造 推 進 員	高 橋 兵 太
	副 部 会 長	木 原 行 裕			
	部 会 員 上板並老ク	伊 賀 並 功			
	” 藤 川老ク	藤 居 良 治			

単位老ク役員・会員数一覧表

(敬称略)

単ク名	会 長	副会長	女性代表	友愛担当	男	女	計
上板並	伊賀並 功	清 水 安 太	伊賀並 香	室谷 かずよ	17	21	38
大久保	長 尾 龍 秀	柏 吉 治	長 尾 友 子	柏 喜 美 子	26	30	56
伊 吹	山 崎 完 一	堀 井 孝 佑	山 崎 繁 子	高 木 喜 三 子	59	73	132
上 野	瀧 澤 武 司	高 橋 兵 助	吉 川 信 子	松 井 瑞 子	85	112	197
春 照	田 中 正 紀	伊 藤 一 司 大 野 龍 天	福 永 映 子	三 原 君 子	59	81	140
高 番	筒 井 俊 文	笹 木 正 之	筒 井 良 子	松 井 さ と 子	29	33	62
杉 澤	宮 崎 義 文	草 野 豊 幸	安 田 千 恵 子	金 子 和 子	39	46	85
村 木	川 瀬 満 雄	田 中 敬 吉	西 村 文 代	和 田 弘 子	30	40	70
大 清 水	多 賀 健 之 輔	児 玉 慶 勝	児 玉 美 智 子	西 川 百 合 子	21	17	38
藤 川	藤 居 良 治	大 石 俊 一	高 木 涼 子	高 木 す が え	24	38	62
計	—	—	—	—	389	491	880

事業実施計画

月	日	曜	行事内容等	場所	月	日	曜	行事内容等	場所
4	12	金	A 企画部会	愛らんど	11	7	木	A 秋季GG大会	第1G・県立運動場
	12	金	広報部会 (編集)	〃		8	金	〃 (予備日)	〃
	16	火	AP 市町老ク連担当者会議	県老ク連 (草津市)		22	金	A 友愛情報交換・福祉部会研修会	愛らんど
	18	木	A 理事会	愛らんど		28	木	A 企画部会	〃
	23	火	A 市老ク連第1回理事会	〃		28	木	A 広報委員会 (編集)	〃
5	22	水	A 保体部会 初夏競技説明会	〃	12	6	金	第58回滋賀県老人クラブ大会	県米原文産会館
	30	木	A 広報委員会 (割付)	〃		13	木	A 保体部会 (競技説明会)	愛らんど
6	4	火	AP 初夏複合スポーツ大会	第1グラウンド	2	14	金	A 広報委員会 (割付)	〃
	5	水	〃 (予備日)	〃		17	月	市老ク連第3回理事会	未定
	13	木	A 広報委員会 (校正)	愛らんど		18	火	市老ク連第3回理事会	未定
	27	木	広報年輪発行	伊吹地域全世帯		20	木	AP 冬季GB大会 (開会式,1日目)	すばーく伊吹
7	11	木	P 寿ふれあい広場	ジョイ伊吹	21	金	〃 (閉会式,2日目)	〃	
8	28	水	A 市老ク第2回理事会	愛らんど	26	水	AP 第50回囲碁大会	ジョイ伊吹	
	28	水	A 市老ク連高齢者スポーツ大会競技説明会	〃	28	金	AP 県高齢者支援活動研修会	県老ク連 (草津市)	
9	9	月	A 保体部会 競技説明会	〃	3	4	水	AP スマイルボウリング大会	山麓総合体育館
	18	水	AP 市高齢者スポーツ大会	長浜ドーム		6	金	A 広報委員会 (校正)	愛らんど
	20	金	A 研修部会	愛らんど		16	月	A 企画部会	〃
	25	水	AP 老ク連県外研修 (1日目)	鳥取砂丘・砂の美術館・三朝温泉の旅		26	木	広報発行	伊吹地域全世帯
	26	木	〃 (2日目)			27	金	A 市老ク連会計監査	愛らんど
10	22	火	A 友愛訪問品配布	愛らんど	27	金	A 伊吹老ク連会計監査	〃	
	29	火	A 保体部会 競技説明会	〃					

※A は午前、P は午後、AP は終日を示す。

県外研修 9月25日(水)~26日(木)「鳥取砂丘・砂の美術館・三朝温泉の旅」

9月 25日 (水)	米原市・各地——名神・山陽道——美作IC——美作(食事)——— 蒜山高原センター(休憩) 7:30~8:00 12:30~13:00 14:00~14:20 —— スイートランド TAKARA (お菓子工場見学) —— 三朝温泉(宿泊) 15:10~15:50 16:30頃
9月 26日 (木)	ホテル—— 燕趙園(中国雑技ショー見学) —— 賀露港(海産物買物) —— 砂の美術館(見学・欧米編) 8:30 9:30~10:30 11:00~11:30 12:00~12:20 —— 鳥取砂丘(食事・見学) —— 鳥取IC —— 米原IC —— 米原市 12:30~14:00 19:00頃

※道路状況・天候により時間が変更になる場合がございます。

常任理事就任にあたって



老人クラブ活動を通じて

保体部会 副部長

伊藤 一司

今度、伊吹老人クラブ連合会の常任理事の指名を受け就任する事になりました。

何も分からぬまま戸惑いもありますが、持ち前のバイタリテイで朗らかに活動したいと思います。よろしくお願いします。

春照老人クラブに入会して四年間、地域の人々の仲間に入れていただき、ふれあいや活動の輪を通して、役割を果たして来ました。老く連にも微力ながらも、更に、その輪を広げてまいりたいと思っています。

さて、私は、健康づくりのためにゲートボールに参加してその楽しさが、わかりかけて来ました。一打ごとのプレーで、つながり、ボールの置く位置によって思わぬ展開と流れが変わります。仲間に迷惑をかけてしまう失敗もあり、チャンスに落ち着けず、思わぬミスも起こします。より慎重で的確なプレーが必要



と実感します。各チームとの交流も広げて、挨拶やマナーも楽しいものです。

老人クラブの活動にある、他の団体、保育園や学校、又交通安全協会との交流から、今の老人活動が、ふれあう団体として会員の方のプラスになればと考えています。

保体部会の担当でもある初夏スポーツ・グラウンドゴルフ・ゲートボール・スマイルボウリング大会等が開催されます。健康づくりや会員の親睦を深める機会になればと思います。スムーズな運営に御協力お願いいたします。



老齡期に思う

研修部 副部長

木原 行裕

この度、当伊吹老人クラブ連合会の組織運営に参加協力させて頂くことになり、因らうも研修部会副部長の役職をお受けすることになりました。素より浅学非才、大役をお引受けする器でない身であることを自覚しています。皆様の温かいご指導、ご鞭撻を賜り乍ら職責を精励させていただきますので宜しくお願ひ申し上げます。

さて、尊い生命・佛縁により賜りたるこの身の慶びをあげたい。会員先輩諸兄弟の皆様と共に老齡期を愉しんで行きたいと思っています。

ところで、「齢をとったものだ」と自覚したのは、いつ頃でしょうか。皆誰もが言うでしょう、若い自分と較べ体力が衰えてきたり、機敏性がなくなってきたり、知覚感覚が衰え物忘れが多くなった等で意識すると思います。実際、私自身も落胆する毎日です。以前、講演会で「老いは、

歳をとってから始まるのではなく、生きた瞬間から成長と同時に進行しつつある」と拝聴したことが今も印象に残っています。このお話は、誰もが勉学に親しんでいた頃、復習を積み重ね自己学習した様に常に衰えつつある機能を刺激しつつ呼び起こし維持することが大事ということを示されています。

老いるという姿を「心身ともに衰えた」と悲観的になるより、新たな挑戦に臨むという楽観的に正の方に気持ちを向けるのではないのでしょうか。時計の針は、止まらずに動くのと同時に年齢も止まらず加齢しています。

水前寺清子さんが歌った歌詞に「ぼろは着ててもこころは錦」とありましたがこの精神で皆様と共に健康に心掛け老齡期を愉しみたいと思ひます。

編集後記

人は人生を「竹の節のように」「川の流れるように」「泡沫のように」と例えながら人々の生きる道筋を示して歩んで来ました。

昭和・平成と発展の歴史の一時代を歩んで参りました我々にも、高齢化・人口減少の文字を背負う時代に入った日本、令和元年の新時代を迎えております。

「年輪」第95号の発刊にあたり、地域の社会発展に寄与されて来た、全ての先人の皆様に深甚の感謝を申し上げます。併せて新元号「令和」の未来時代に大きな期待をして、心から祝賀いたしたいと存じます。

今年も伊吹老人クラブ連合会は、地域の高齢化のさまざまな課題を抱えつつ、引き続き老人クラブ会員の方々の連帯組織として、会員が心身の健康を保ち各種の活動を楽しみながら、「繋がりのある人生」を送ることを目標に、地域貢献やスポーツ・趣味等を通じた活動計画をして参ります。

編纂の終わりに、各字老人クラブ会長さんのご協力と会員の皆様のご理解のもとで、次世代に継続する伊吹老人クラブ連合の維持発展を願ひ、一人でも多く新規会員が加入されることを願っております。

広報編集委員 嶋田正昭